

TAを活用した授業の実践事例



これらの事例は、TA活用報告書を基に作成した一例です。

教育開発支援センター

学生の主体的な学びを促す授業実践



● 多人数講義で双方向授業の実現

・ショートレポート、ミニツツペーパー、CEASの小テスト、フォーラム(電子掲示板)の内容をTAがまとめ、教員との協議を経て、次の授業で講評を行うことで、学生が授業を振り返る機会となった。また、学生からは出なかった新しい視点からの意見をTAが出すことで、授業内容の理解を深められた。

● ディスカッションやグループワーク補助

・学生同士のディスカッションにおいて、ファシリテータとしてTAが参加した。拡散した議論を収束したり、発言が少ない学生に質問を投げかけ発言を促したりするなど、TAは状況に応じて円滑なディスカッションを支えた。
・ファシリテータとして活動するTAをモデルとし、学生もグループワークに積極的に参加するようになった。



学生の理解度に即した授業実践



● 理解度に応じたきめ細かい学習支援

・理解度にばらつきがある理工系の授業において、教員の指導のもとTAが学生からの質問を受け付けることで、学生の理解度に即したきめ細かい学生指導ができた。
・外国語の授業で、留学生のTAが補助的に発音指導、ライティング指導に関わることで個別対応の時間を増やすことができた、学生の意欲を高められた。

● 学生の個別活動(発表・調査等)補助

・TAが学生の発表準備時にプレゼンテーションへの質問をすることで、学生の自己理解や考える機会を促した。また学生も自信を持ってプレゼンテーションをしていた。
・TAが学生の進捗や理解度を教員に伝えることで、学生へのきめ細かい対応や授業の改善につなげることができた。

